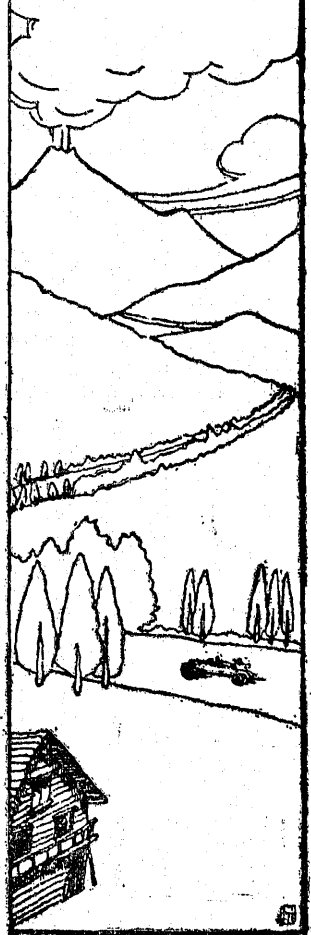


# 論 說



## 天災と道路改良

會長 貴族院議員 水野鍊太郎  
法學博士

交通機關の發達が、一國の産業を助け、文化の向上に資することは言ふまでもない。交通機關と云へば陸上に在つては鐵道、道路あり、水上に在つては船舶、運河、港灣等がある。是等の交通の諸機關が完備し、互に其連絡を取るに於て、國の産業が發達し、國民の福利が増進せらるるのである。故に近時何れの國に於ても、交通機關の發達に最も意を致して居る、殊に道路の如きは其最も必要なる交通機關たることは言ふ迄もない。鐵道が普及し、水運が完備する時には道路の無いといふ事を唱ふる者があるけれども、是は全く皮相の見であつて、鐵道、水運等が發達すれば、發達する程、道路の必要を感ずるのであ

る。鐵道及水運の如きは限りある區間に於てのみ使用せらるゝものであつて、之を連絡し其効用を全くせしむるには、如何にしても道路に依らなければならぬ。道路は地上に施設するものであるから、苟も土地の在る處には如何なる場所にも、之を設くる事が出来るのである。而して人は地上に住居し、又此地上に在つて事業を営むものであるから、道路に依るに非ずんば交通、往來、輸送等を爲し得ざる事は當然である。故に交通機關の中に於ても、道路の完成を期する事が最も必要なることは言ふまでもない。道路は歩行者にも、車馬の使用者にも等しく使用し得られるのであつて、且古今何れの時代に於ても、最も簡易輕便に使用し得らるゝ交通機關である。故に道路の改良を計り、其施設を完全にすることは國民の福利を増進し、國家の經濟力を増す上に於て、最大要務であることは言ふまでもないのである。然るに我國に於ては道路は其發達に於て、今日迄最も遅れたる觀があるのである。封建時代に於て、互に城壁を設けて相孤立する場合、外敵を防ぐのには交通が不便にして、容易に其城廓内に人を近附けしめざる事が、必要であつたのである。随つて我國の道路の狀態を見るに、此目的を以て施設せられたる狀態が判る。國道に於て之を觀るも其道幅は狭く、且つ屈曲し、勾配は非常に急に、交通上極めて不便なる狀態を呈して居つたのである。是れ我國に於て道路が發達せざる原因であつたと思はれる。併し今日に於ては、全國四通八達して人馬の往來、物資の輸送を便ならしむる必要が生じたのみならず、文明の進歩に伴ひ車馬、自動車、其他の運輸機關が進歩したのであるから、此進歩に伴つて道路を改造しなければならぬ。又鐵道が普及し、港灣等が完備されるに於ては、是等を連絡する所の道路を築造しなければならぬのである。茲に於てか道路改良の必要が當然に生じて來るのである、殊に都市の道路に於ては、其街路の形狀を完全にし、交通、

輸送を容易ならしむることを期せねばならぬ。吾々が道路改良會を主唱したのは實に茲に基くのである。

道路の改良に依つて如何に生産力が増し、物價が低廉になり、個人生活に於ても、又國家並に公共團體の財政に於ても幾多の利便と、資力の増進を見たかと云ふ事に付ては特に數字を示す迄もなく、其効果の著しきものが分るのである。故に地方人士が道路の必要を認め、道路の開通と、其改修を要求するの聲を大にするのは當然の事であると思ふ。殊に今次の東京附近に於ける震災に依つて、如何に道路が必要の交通機關であるかと云ふことが證明せられたのである。今次の震災に依つて京濱の大都市が破壊せられ、物資の輸送に大困難をしたと云ふことは、何人も感知したる所である。幸に各地方の同情が集つて、巨額の物資が東京に集中したのであるが、其集中したる物資を充分敏速に配給し得られずして、東京灣内に多數の船舶が滯泊し、其積載したる物資が空しく時日を費して陸上に揚ぐることを得ず、折角陸揚げしたる貨物が芝浦海岸に腐敗したりとの事を見たのであるが、是は一面港灣の施設其宜しきを得ざるに依るのであるが、一面に於ては道路の完全ならざるが爲めでもある。鐵道は破壊され、港灣が毀損せられたる場合に於ては頼るべき交通機關は道路を措いて他に無いのである。若し道路が完全に施設せられて居りしならば、車馬、自動車等に依つて速かに東京、横濱等に物資が完全に配給し得られたと思はれる。

殊に京濱間の道路の狀態を言へば、現在の國道狹隘にして、車馬絡繹して殆ど京濱間の輸送は杜絶せられたるが如き觀があつたのである。若し曩に内務省に於て計畫せられたる京濱國道が、早く完成して交通の用に供せられて居つたならば、此輸送力の大半は此道路に依つて補はれたと思はれる。余は震災後に京濱間の道路を視察し、新舊道路の狀態を見て、新道路の早く完成せられなかつた事を非常に遺憾に思

つたのである。是は其一例に過ぎないのであるが、斯の如き非常時に際して道路が如何に必要な交通輸送機關であるかを吾々は實驗したのである。吾々は此今次の震災に鑑みて、道路改良の一日も遅緩すべからざるを痛感し曩に政府に對して京濱國道は勿論、其他一般道路の改良を促進する事の喫緊事たるを建議したのである。(卷頭掲載) 曩に内務省に於ても此趣旨に基き國道の改修に關して一定の計畫を立て、一定の費用を支出する事を計畫したのであるが、不幸にして來年度豫算に於ては、財政上の關係より其費額が減額を見たことであるが實に遺憾である。今後一層道路の改良施設に付て官民共に力を合せて、此目的を達成する事に意を致されんことを切望せざるを得ないのである。

之を歐米諸國の狀勢に見ても、道路改良に對して銳意力を致して居るのである。殊に米國の如きは自動車の發達に伴つて道路の改良を期し、着々其實行を見つゝある。從來鐵道の便に依つたものが、今日では自動車を利用して道路を使用することが却つて鐵道以上の効果ありとの説が漸次に證明せられつゝあるのである。

是獨り平時に於てのみならず戰時に於ても其必要なる事は言ふまでもない。若し今次の災害が假に戰時に於て生じたりとしたならば、帝都は殆ど孤立の狀態に陥つて物資の供給を得ること能はずして、極めて危機に瀕したることが想像し得られるのである。故に是等の狀勢に鑑みて吾々は今後一層の努力を以て道路の改善事業を計畫し之を國民に徹底せしめたいと思ふのである。此點に付て、官民一致して充分なる力を盡されんことを、特に希望せざるを得ないのである。